



ぐーだふお
だより

第17号

編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
宇都宮市中岡本町3178-3
TEL 028 (673) 0002
FAX 028 (671) 0785
✉ kawachi-yotsubakai@rouge.plala.or.jp
http://kawachi-yotsubakai.or.jp/
印刷/藤崎印刷株式会社

平穏な生活回復を願って

理事長 磯町 三男

法人・施設関係者の皆様には、日頃からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ感染状況もある中ではございますが、近々の報道等によれば、福祉施設職員・利用者へのワクチン接種も加速している状況にあり、明るい兆しも感じられます。

当施設においては、感染者等もなく平穏に運営されていることは幸いであると思っております。

これも偏に保護者・職員の皆様により感染防止対策を徹底して頂いたお蔭であると感謝する次第でございます。

当法人においても各種行事を中止せざるを得ない状況に立たされておりますが、職員一丸となり感染防止対策を徹底しつつ、利用者が安心して働き、楽しく過ごせる代替行事等を取り入れながら利用者支援に努めております。

故事に「一念天に通ず」という私の好きなことわざがあります。物事を成し遂げようと一心になれば、必ずや天に通じて成し遂げられるという意味で、今後もコロナ禍終息を願いつつ、保護者・関係者の皆様のご支援を賜りながら、安心できる施設運営に努めて参りたいと考えております。

おわりに、保護者及び法人関係者の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

夢をかなえるプロジェクト

施設長 和久井 隆

連日連夜、新型コロナウイルスのニュースであふれ、生活様式の変化が求められています。送迎車両の中でも「いつまでマスクをしなくちゃいけないの?もつ、やだよ」という声を耳にします。また、昨年の春から秋にかけて作業売り上げが激減し、工賃を減額せざるを得なくなりました。大変申し訳なく思っています。それでも利用者の多くは生活様式の変化に順応し、また、職員の奮起で3つの新規作業(自動車販売店での洗車作業、ゴム製品の封入作業、柿園の除草剪定作業)を導入し、パンの販売先開拓もあり、ようやく12月の工賃から元に戻すことができました。

コロナ禍の不自由な生活は、まだ1年以上続くと思われれます。というのも、ワクチンが接種できたとしても、その効果は発症を抑えるものであって、感染を抑えるものではないからです。発症しないことは素晴らしいのですが、別の見かたをすれば、感染しても症状がでない、無症状で他人に移してしまう危険性が残ります。そこで他人に移さないためには、引き続きマスクの着用と手の消毒は欠かせないのです。となると、今年度も大規模な行事は実施しにくい状況が続きます。

そこで密にならず安全を確保しながら楽しみを追求する上で、まさに打って付けの行事があります。それが「夢をかなえるプロジェクト」です。一人ひとりの夢を個別対応で実現しますので、どうぞご期待ください。このよくな時だからこそ、夢を持ってそれに向かって知恵と力を注ぎ、楽しい毎日にしませう。

新型コロナウイルス感染対策の取り組みについて

新型コロナウイルスの終息が見えない状況が続いておりますが、当法人における新型コロナウイルス感染対策の取り組みのほんの一例ですが、ご紹介させていただきます。



簡易パーテーションによる仕切り



オゾン発生装置

令和2年度 トピックス

● 新たな職員が着任しました！

- 相談支援専門員 古口 正則 趣味は？…ウォーキング・美しい景色や史跡を訪ねること。ひとこと…新しい環境に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張ります。
- 生活支援員 羽生 恵二 趣味は？…写真撮影、読書、運動。ひとこと…パンの販売に携わっています。よろしくお願いします。
- 生活支援員 店橋 俊行 趣味は？…家庭菜園を勉強したいと思っています。ひとこと…早くグーフォの雰囲気慣れたいと思います。
- 生活支援員 青木 健浩 趣味は？…ランニング。ひとこと…皆さんとアクティブに頑張ります！



▲古口正則



▲羽生恵二



▲店橋俊行



▲青木健浩



▲小坂枝里



▲坂元マツ



▲松田利江



▲高久泰子

● 令和2年度から給食業務を「日本栄養給食協会」へ委託いたしました。

- 小坂 枝里 趣味は？…カメラ・ガーデニング。ひとこと…安全、安心の食事で皆さんの健康をサポートできたらと思います。
- 坂元 マツ 趣味は？…旅行。ひとこと…おいしい給食を提供できるようガンバります。
- 松田 利江 趣味は？…道の駅巡り・ジャニーズをテレビで観ること。ひとこと…皆さんの明るい笑顔に癒されて、楽しく仕事をさせて頂いています。
- 高久 泰子 趣味は？…ヒミツ。ひとこと…「美味しかった」の一言でいつも元気をもらっております。

● 「わく・わくアートコンクール」 in うつのみや2020

[わく・わく賞] に薄井友孝さんが入賞されました。

● ご寄付を頂いた方・団体のご紹介 (匿名希望の方を除く) (順不同)

環境整備株式会社様、フードバンク宇都宮様、四関 勲様、高野 純一様

● 栃木県共同募金会様より「物置き」2棟整備のための配分金をいただきました!!

● 次世代国産花き産業確立推進!

なかよし保育園、さくら保育園、岡本幼稚園に花を届けて交流を図りました(6、11月)



▲ 栃木県共同募金会様からいただいた配分金で整備した「物置き」

各作業グループ報告

農園芸



昨年年度は、4月に高久大輔さん(利用者)が入り12名で活動しています。作業関係では、新型コロナウイルスの影響で、プランターのリース場所が1か所減ってしまいました。新たに柿園の除草作業が始まりました。特に除草作業では、一部の利用者さんに除草機を操作してもらい作業に取り組み頂きました。初めての機械操作で初めの方は操作に苦戦していましたが、作業を重ねるうちにスムーズに除草機を扱っていくことができるようになり、その事が自信に繋がっており、積極性が出てきた利用者さんもおります。

野菜関係では、施設の畑で採れた自然栽培で作った大根と人参を切り干しにして販売をいたしました。また、今年も地域のお店で野菜の販売を行いました。利用者さんも初めの方は、緊張している様子がみられましたが、最近では、納品に行った際にお店の人に行き事を楽しみにしている様子がみられるようになりました。

今後も作業を通して利用者さんが持っている意欲を発揮できるように支援させていただきます。



パン



昨年年度からの取り組みとしては、「食品表示法」に対応した新しいラベルでの商品提供、7月からのレジ袋有料化により、みんなで新聞紙で作成した紙袋の利用があげられます。パン作業では、利用者のパン成型の取り組みの時間を増やしたり、パン生地を分割をより綺麗に手早くできるように、職員からポイントを聞き、皆意識しながら頑張っています。

しかし、新型コロナウイルスの流行により、施設外販売先やイベントの中止、外出自粛等により、厳しい一年になりました。今後、感染症対策をしっかり行い、新規販売先の開拓、商品の見直し、新商品開発など、みんなで協力して乗り越えたいと思っています。

また、異物混入の確認、温度等の記録など製造に細心の注意を払って製造をしていきましたが、今年度は今まで行ってきた製造工程を見直し、より安全な商品の提供のために「HACCP」の考えに基づき衛生管理を実施していきます。地域の皆様の協力を得ながら、安全で美味しいパンをお届けし、利用者が「お仕事が楽しい」と思える環境作りに努めていきたいと思っております。

受注



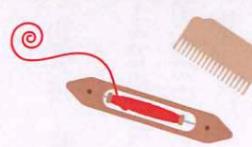
昨年年度は、新型コロナウイルスの影響により、今までの受注先から作業量が削減されてしまいましたが、解体作業を手伝ったり、新規の受託先を開拓し、現在は安定した作業量を確保することができております。

また、ある受託先からは、不良品を出すことなく、三期連続で優秀賞を頂くことができ、さらに新たな作業の依頼も受けております。これは、日頃、利用者の皆さんが真剣に作業に取り組む姿勢が評価されたものと考えております。

新規で開拓した作業も含め、今まで挑戦したことのない作業にもチャレンジをして頂き、取り組んでおります。当初は、苦戦していた作業内容でも、徐々に技術が向上し、評価を受けることができ、自信を持って作業に取り組むことができるようになってきました。自信を持つことにより、意欲的になり、手伝い等も行つうようになり、他の利用者への気遣いも少しずつ見られるようになってきました。その行動は、他の利用者にもいい影響を及ぼしております。

これからも、持っている意欲を十分に発揮できる試みを継続し、利用者が利用者らしく生きていくことを応援していきたいと思っております。

織物



昨年年度は、体験学習を目標にした余暇支援を感染症対策をしつつ4回のペースで実施してきました。色々な経験を積みながら積み重ね、できる事が増えつつあります。しかし、コロナの感染拡大により制限された状況になってしまいました。コロナの終息を願うばかりです。

さをり織の「100歳のお祝い記念トートバッグ」の発注が無くなってしまいました。物を活かす機会が減ってしまい、とても残念です。

ボランティアの皆様の協力を得て作られている製品を市役所のわく・わくショップで販売してもらっています。人気のベスト3は、スマホケイス・ふくろうパジャマ・コースターです。新たに、ボランティアの方から寄付を頂いた千代紙の作品によつじを入れ、受注班と協力して「姫よつじ」として製品化できました。

意欲を引き出し、さらに育むためのかわりを目標に試行的にプログラムを見直しています。できるだけ無理なく、安定して楽しく過ごせるように、個々に合わせた支援に取り組んでいきたいと思っております。

グーフォを支援して 下さっている方々のご紹介

クラブ活動講師

- カワイ体育教室
大内由希子さん

- 音楽クラブ
松本 薫さん
- 絵画クラブ
大橋 史哲さん

作業ボランティア

- さぎ草ボランティアの皆様
- 福島 玲子さん
- 高野 純一さん
- 山中 攸子さん
- 中野 滋さん

パン販売ボランティア

- 見目 勝義さん
- 河内地区民生委員・児童委員の皆様



よつば荘談話室

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、よつば荘でも買い物や外出の制限があり、利用者さんには不安やストレスのかかる年となってしまったかと存じます。しかし、感染対策を行いながら、室内で行えるゲームや、休日を利用してドライブを行うなど、利用者さんが楽しめる機会を提供しています。少しの時間ですが、外の景色を眺めながらみんなと同じ時間を共有することで楽しめたとの感想を聞くことができました。

感染症対策では食堂のパーティションの設置や帰宅時のアルコール消毒、オゾン発生機噴霧器の設置など万全の対策をとっています。今年度には、感染症対策を十分にした上で、外でお弁当を食べたり、密を避けながら、外出ができるように配慮致します。安全に、楽しく日々の生活を送れるように支援していきたいと思えます。(柏崎紀彦)

新しい仲間たち

★ 令和2年4月より
高久 大輔さん
(農園芸班) が
仲間入りしました。



▲高久大輔さん

★ 令和3年4月より
南 慧さん
(受注織り班) が
仲間入りしました。



▲南慧さん

保護者会より

令和2年度を振り返って

保護者会会長 郷間 ミツエ
日頃から、磯町理事長を始め職員の皆様、保護者会の皆様には、ご協力ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、事業の中止がありました。主な活動は次のとおりです。

- 4月、保護者会総会。書面表決で実施。30名の書面提出により総会成立。議案は全て承認されました。
- 6月、保護者と職員の学習会。池本喜代正氏を講師に「この子らが世の光になるために」自立と自己実現を考える」を演題に開催。
- 9月、保護者会臨時総会。「令和3年度役員選挙委員選出」を議題に開催。出席17名委任状17名、計34名で臨時総会成立。4名選任。
- 2月、保護者と職員の懇話会。書面提出により実施。

コロナ禍が早く終息し普通の生活に戻り皆様と活動が出来るよう願っております。

保護者会より 寄付をいただきました



▲顔認証サーマルカメラ

編集後記

ぐーふおだより17号の発行が遅くなってしまい、誠に申し訳ありませんでした。
この場をお借りしまして、お詫び申し上げます。(脇)